

由利

立教184年

令和3年

6 月 号



佐々木ヨシ大刀自 五十日祭、合祀祭

1ヶ月間の主な歩み

五月

一九日 北浦原分教会月次祭

二十日 支部長面談日

二二日 大教会月次祭

二六日 御本部月次祭

三十日 佐々木ヨシ大刀自五十日祭 合祀祭

納骨

六月

二日 由利支部婦人会

三日 支部例会（仁賀保分教会）

五日 お願いづとめ十二下り（13時30分）

九日 お願いづとめ十二下り

一二日 会長・理事会議

一三日 由利分教会月次祭

今月の言葉

由利分教会長

佐々木 正 明

今月は青年会本部発刊の「たすけ一条に生きる」より田口美代子先生(越美錦分初代会長)の記事を紹介し
ます。

実行して分かる道

—どんな悩みにもお答えします—

会長さん(越美分教会長 筒井敬一先生)と初めて出会ったのは、村の婦人会主催の講演会でした。私の実家は農業をやっていましたが、お店もやっていたので、戦争中でも食べ物や金銭面に不自由しない生活で、本当に苦勞せずに育ってきたんです。

あるとき、兄が事故で亡くなり、それがきっかけで家の中がだんだんと治まらなくなりました。父はお酒におぼれて酔っぱらって帰ってくる。すると、母が怒って毎晩夫婦げんかが始まり、灰皿が私の顔に飛んでき

て血を流したこともありました。そのうち、父に女の人の噂が出てきて、家の中がゴチャゴチャになりました。私は、それまで何の苦勞もなく生きてきましたから、すべてが嫌になつて自殺を試みたり、姉と一緒に家を出たりして、毎日「生きていても仕方がない」と思いながら過ごしていました。

そんなある日、うちのお店に「映画と講演の夕べ」と書かれた張り紙がしてあったんです。「ああ、映画があるんだな」と思っていました。張り紙の部分に、「どんな悩みにもお答えします」と書いてあり、「へえ、それなら一度いつてみよう」と思っ
たんです。

行くと、すでに映画は終わり、講演が始まっていました。そのお話の内容は、「この世の中は、徳いっぱいだ。徳がないと、難儀不自由をするんだ。子供で苦勞するということとは、自分に子供の徳がないんだ。親で苦勞するということは、自分に親の

徳がないんだ。金銭で苦勞するということとは、自分に金銭の徳がないんだ。だから、徳を積むことが大切ですよ。そのためには、人のために動いてください。人のため、世のために動いたら、徳が積めるんですよ」というお話だったんです。それを聞いて、「私は家で何にもしてこなかった。みんなにやつてもらうのが当たり前だと思つて生きてきた。嫌になれば家を出たりして、人のことなど考えたことがなかった。だから、徳が減ったんだ。徳がないから苦勞するんだ。私は、徳を積まなきゃいけない」。そう思いました。でも、どうやつて徳を積み上げいいのか分かりません。それで、お話の後に会長さんの控え室へ行つたんです。「先生、もう少しお話を聞かせてもらえませんか?」「いいですよ。これから婦人会の役員さんと話をするので、それが済んだら僕のほうからあなたの宅へお邪魔しましょう」と言われました。時刻は、すでに夜の十時を過ぎてい

たと思います。先生が訪ねてきて、それからダーツとお話をされるんです。

「あなたは今、崖っぷちから下がっている蔓につかまっただんですよ。その蔓を上がれば結構が見えてくる。いんねんも切れてくる。神様が、最後のたすけの綱を下さったんだから、それにつかまって、どんなに苦しいことがあっても離しちゃいけませんよ」と。そして私が「どうしたらいいでしょう?」と尋ねると、「修養科へ行けば、あなたの心が全部すっきりします。悩みもなくなっていくですよ」と答えられました。「そうですか、それなら入らせてもらいます」「そうしなさい。私も修養科の講師として一緒に入るからね。今度連絡をします」と言って帰られました。もう夜中の二時か三時ぐらいだったと思います。翌朝、父に「修養科へ入らせてほしい」と話すと、父は大反対。それで一度は断念したのですが、私は相変わらずの家の事情に耐

えられなくなって、結局、父には黙って早朝に家を抜け出し、逃げるように修養科へ入りました。

このように、私の信仰は「徳いっぱい」の話と「降り蔓につかまれ」という話から始まりました。

八代会長 佐々木ヨシ大刀自
五十日祭及び合祀祭、納骨

五月三十日

午前十時半より、仁賀保、亀田町の会長さんに斎官をして頂き、佐々木ヨシ前会長の五十日祭及び合祀祭、納骨をさせて頂きました。



先月の月報にも掲載したように、当日は親族、教会家族のみでおこなわせて頂きました。

教会活動の充実を目指して 部内会長・理事会議

六月十二日午後三時半より、当教会の会長さんを芯に、部内会長、理事会議を開かせて頂きました。当教会の百二十周年、今後のおたすけ活動についてなど様々な議題について話し合いました。

由利分教会百二十周年活動

ようほく信者の活性化、
おたすけの実践を目指して!
おさづけカード集計

五月

30枚

総計

439枚

7 月 祭 典 役 割 表

神 殿 講 話 東 滝 沢 分 教 会 長

開扉・献饌の男子の方は**十時**まで、女子の方は、**十時二十分**までおつとめ着を着用し、神殿にご集合下さい。

て お ど り												祭 主	会 長	属 者		賛 者	指 図 方
地方(主)	地方(副)	笛	チャンポン	拍子木	太鼓	すりがね	小鼓	琴	三味線	胡弓	東滝沢	由利道	利翔	由利東	斎藤清一	上之浜	後半
由利道	斎藤賢爾	上之浜	由利東	雄物川	佐々木由正	東滝沢(前)	仁賀保	小林理英子	佐々木めぐみ	小川道子	亀田町	東滝沢	小松敬子	斎藤美和子	豊島舞	豊島絢子	小川昭子
佐々木由明	佐々木由正	佐々木義實	桑原廣	伊藤一男	桑原廣	伊藤一男	斎藤清一	中村柳子	佐々木良美	豊島末子	佐々木由正	前	松田理奈	斎藤清一	佐々木由正	上之浜	後半
斎藤賢太郎	小林大晃	伊藤一男	小野繁樹	中村喜正	桑原廣	木内正信	佐々木素子	木内美歩	小川貴美子	小川貴美子	佐々木由正	前	松田理奈	斎藤清一	佐々木由正	上之浜	後半

部 内 だ よ り

矢 島 町 分 教 会

埼玉の矢東の所長さん、大阪の矢浪の所長さんと信者さん一名、ワクチン接種第一回目終わりました。

仁 賀 保 分 教 会

会長が長年の間、教会前の横断歩道で学童の見守りをしたという事で、にかほ地区交通安全協会、院内支部より感謝状を頂きました。

亀 田 町 分 教 会

十一日、前会長小林繁の五十日祭、合祀祭納骨を上之浜分教会会長様の祭主のもとつとめさせて頂きました。